



IGC

事務局ニュース

No. 21

第29回IGC事務局

電話：0298-54-3627
ファクス：0298-54-3629

IGC開催まであと1年!

第7回組織委員会が開催されました

第29回IGCまで、いよいよ残り1年弱となりました。すでに皆様は登録やアブストラクト作成の準備を進められていることと思います。会議開催の準備も順調に進行中です。

8月6日午後2時～4時、東京大学総合研究資料館会議室で第7回組織委員会が開かれ、現在の準備状況と今後の予定についての討議が行われました。出席者は、有田忠雄(和達清夫代理)、佐藤 正、飯山敏道、石原舜三、井上英二、上田誠也、大本 洋、岡田博有、小倉義雄、垣見俊弘、久城育夫、小出 仁、斉藤 隆、佐倉保夫、嶋崎吉彦、鈴木尉元、諏訪兼位、阿部泰行(秋林 智代理)、田中義則、遠山信彦(斉藤 貞代理)、床次正安、西村 進、野上裕生、橋本好一、坂野昇平、藤井敬三、星野一男、本座栄一、森 啓、矢内桂三、青木三郎(渡辺 隆代理)の各氏でした。

おもな報告事項は以下の通りです。

<組織委員長報告>

6月7日第29回IGC開催が閣議了解された。後援官庁は一部依頼中も含めると文部・農水・通産・運輸・建設・北海道開発・科学技術・環境・国土の9省庁となる予定。ついで8月1日に学術会議主催の組織委員会が開催された。

6月7日IUGSのCordani会長が来日し、京都IGCの開催準備状況等について意見を交わした。

<事務総長報告>

2nd Circularを合計18,000部印刷し、4月中旬JALによりN.Y., Londonへ空輸し、北米・欧州へは現地公認エージェント経由で配布した。その他の国々へは5月初旬に学術会議が航空便で配布した。主な配布先は

北米 1,110件 1,364部

1991年9月号

ヨーロッパ	1,181件	1,426部
その他	2,404件	3,356部
国内	600件	600部
コンビーナ		4,500部
募金, 学会配布, その他		5,000部

7月末現在の登録者は63人。ビジネス委員会の申込は7月1日の締め切り段階で35件。ジオホストは10月1日まで受付中。現在までに82名の申込があった。

IGC記念切手発行の申請が学術会議から郵政省郵務局に出された。9月下旬にその採否が決定される予定。

登録者に配布するみやげ物を検討中。地調からは地質図・絵はがき等の案が出されている。事務局案として本年9月にIUGSが発行する“Episode”(IGC特集)をおみやげとして同封の予定。その他のアイデアを募集している。

<募金委員会報告>

5月に「募金趣意書」を作成し本格的な活動を開始した。募金期間は本年8月24日から1年間で、すでに大蔵省、東京都より免税措置・募金活動の許認可を得ている。

経団連や全地連をはじめ関係団体や企業に協力依頼の運動を行っている。また北海道、東北、関東、関西、中国の各地域に募金委員会・連絡会を結成、全国規模で成果をあげつつある。地方自治体・財団法人による助成金や、関連特殊法人からの協力もお願いしている。個人からの募金を含めさらに多くの方々のご協力を頂きたい。

<財務局報告>

平成3年1月1日～同3月31日期の会計報告。

<各小委員会報告>

略

ついで以下の議題について審議されました。

1. 新たに副会長として藤森正路氏（住友金属鉱山株式会社社長）、高橋良平氏（九州大学学長）を推薦し、委員の交代を含む新組織委員が承認された。
2. 財務局の会計運用に関する「会計管理規定」と関連する「組織委員会運営規約」の改正を承認した。
3. ジオホスト選定委員会のメンバーとして組織委員長、事務総長、プログラム委員長、ジオホスト委員長と、IUGS から2名、UNESCO、AGID、及び28th IGC から各1名の委員が加わることが提案され承認された。
4. 個人および学会の募金協力に対して、一定額以上については登録料を無料にするなど、何らかの特典をつける案が提案され承認された。企業・法人については継続して審議することとなった。
5. 以下のような今後のスケジュールが検討され承認された。

—今後のスケジュール—

- 1991年
- 8月24日 指定寄付金受付開始(1992年8月22日まで)
 - 9月末 記念切手発行決定
 - 10月1日 ジオホスト申込締め切り
 - 10月上旬 ジオホスト選考委員会
 - 11月下旬 プログラム委員会
 - 12月1日 アブストラクト申込締め切り
 - 12月 アブストラクトの採否決定と通知
ジオホスト候補者の決定と通知
- 1992年
- 1月 第8回組織委員会
 - 2月1日 事前登録申込締め切り
 - 2月 巡検コース最終案決定
 - 3月初旬 第9回組織委員会
3rd Circular 原稿締め切り、印刷
 - 中旬 巡検ガイドブック完成
 - 5月初旬 3rd Circular 発送
 - 6月 第10回組織委員会
 - 6月中旬 プログラム、アブストラクト集完成
講演者に通知
 - 8月中旬 おみやげ品納入
 - 8月23日 第11回組織委員会
 - 8月24日～9月3日 本会議

地質調査所、科学展示会のアイランドブースに出展

地質調査所は京都国際会館イベントホールで会期中開催される科学展示会に6～12区画分のアイランドブース

(1区画：3m×3m)を借り上げ、地質図や記念出版物の展示・販売をすることになりました。記念出版物としてはかねてから準備を進めていた「100万分の1地質図」、「日本地質アトラス」(いずれも改訂版)のほかに、新たに「日本の岩石と鉱物(仮題)」と題して、わが国の代表的な岩石とその顕微鏡写真および鉱物写真(それぞれ100選)を豪華に収録した写真集が出版され販売される予定です。また、IGC参加者全員へのおみやげとして「コンピュータ編集日本地質図(200万分の1)」、「絵はがき“日本の地質”」などを配布する計画も検討中です。

IGC事務局では現在、企業や学術団体、大学などによる科学展示会への出展を募集中です。88の標準ブース(3m×3m)のほか15の2～8区画分ブースを用意し、前・後期合わせて延べ206ブースを用意しています。すでに内外の政府・公的機関、国際機関、民間企業から問い合わせや申込がきていますので、早めに事務局の科学展示係へお問い合わせください。

委員の交代、新事務局員のご紹介

科学プログラム委員会ではこれまで委員会の幹事をしていた吉田鎮男委員(東大・理)と歌田実委員(東大・総合研究資料館)が交代し、あらたに島崎英彦委員(東大・理)、鳥海光弘委員(東大・理)、松本良委員(東大・理)が新幹事となりました。

またIGC事務局では、石原舜三事務総長(元地質調査所長・現工業技術院長)の異動に対応して矢島淳吉鉱物資源部長を事務局局長補佐として、また富樫茂子同位体地学課長、豊遙秋地質標準課長ならびに佐藤興平鉱床探査課主研を事務局員として迎え、体制を強化することになりました。準備期間も1年以内となりいよいよ忙しくなりますが、宜しくお願いいたします。

お詫びと訂正

前号(本誌7月号)でアブストラクトの申込締め切り日を誤って1992年1月1日としていましたが、正しくは1991年12月1日ですので、お詫びして訂正します。ご質問ご連絡は下記事務局へお問い合わせください。

〒305 筑波学園郵便局 私書箱65号
第29回万国地質学会議事務局(29th IGC事務局)
Tel: 0298-54-3627 Fax: 0298-54-3629